

NTTデータ様との協業による 千年カルテを活用した データ活用サービス開発のご紹介

株式会社エクサウィザーズ

Mission

AIを用いた
社会課題解決を通じて、
幸せな社会を実現する

会社概要

Founder & CEO



取締役会長
春田 真

元DeNA会長
元横浜DeNAベイスターズ
球団オーナー



代表取締役社長
石山 洸

元リクルートAI研究所所長

従業員数



エンジニア

50%



戦略
コンサル
タント

35%



ドメイン
エキスパート

5%

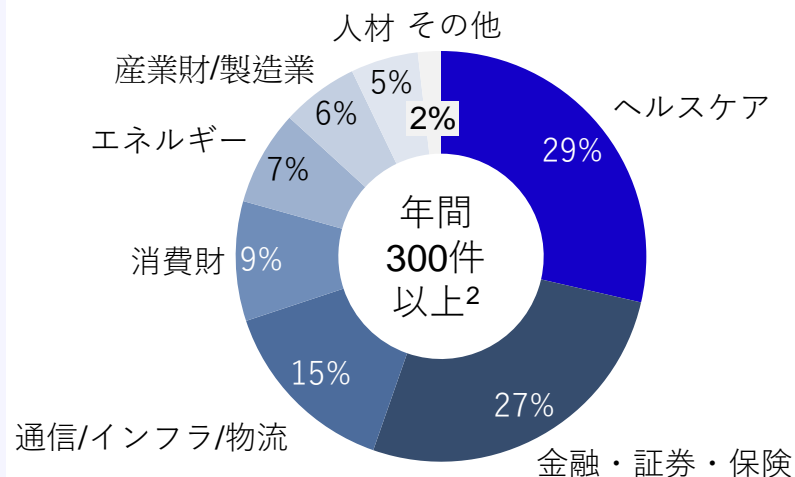


コーポ
レート

10%

約370¹名

取引実績



主要取引先(一部抜粋)



主要認定/採択等



株式公開市場

東京証券取引所マザーズ市場
(証券コード：4259、上場日：2021年12月23日)

拠点

国内：4拠点 (東京、浜松、名古屋、京都)
海外：2拠点 (インド、米国)

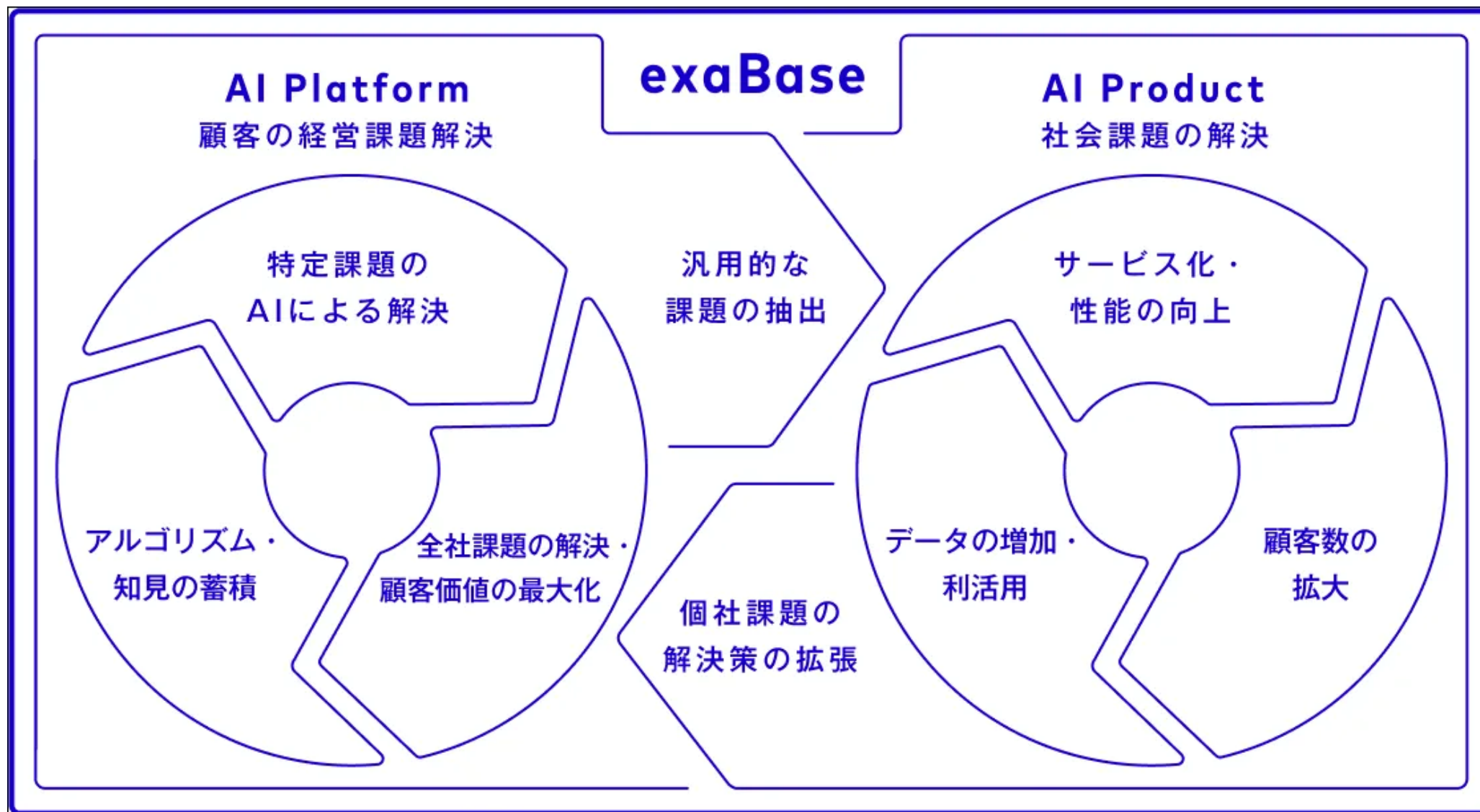
グループ会社

エクスウェア株式会社
株式会社エクサホームケア
株式会社VisionWiz

1.2021年11月時点/グループ会社含む 2.FY20実績



エクサウィザーズの事業モデル



エクサウィザーズの展開サービス - 社会課題解決を推進するプロダクト・サービスラインナップ

exaBase

AI・DXで成果を創出する
国内最大級のプラットフォーム



exaBase



AIプロダクト

AIで介護や保育をはじめ、様々な社会課題に
アドレスする自社開発プロダクト・サービス



CareWiz 話すと記録

介護記録、申し送りなど、
介護スタッフの間接業務を
AI×音声入力でサポート



CareWiz 家族支援

動画で家族介護の
お悩みが解決できるアプリ

ケアコチ

介護現場向け動画共有アプリ。
介護現場でのスキルを醸成
するためのツール









保育現場向けの写真撮影・選
別アプリ。保育現場の生産性
向上を実現します

※exaBase、CareWiz、ケアコチ、とりんくはエクサウィザーズの登録商標です。



exaBaseの既存アセット

年間300件超の案件を通じて蓄積した知見やモデルをアセットとして活用

| | 予測・分析 | 最適化 | 画像解析 | 音声解析 | 文章解析 | ロボティクス | 新規開発 |
|-------------------|--|---|---|--|---|---|------|
| AI アプリケーション |  予測・分析 異常検知 |  開発中 |  エッジカメラ |  開発中 |  FAQ 企業検索 |  ロボティクス | |
| インターフェース (API) | 構造化データ解析 | 開発中 | 歩行解析 動画表情解析 | 開発中 | FAQ | 開発中 | |
| AI アルゴリズム | 流入量予測 市場価格予測 創薬予測モデル スペック予測 タンパク質発現 製剤予測モデル 行動検知・予測 退学予測 退職予測 人事影響要因検出 与信審査 情報キュレーション | HR最適化 人員配置最適化 棚割最適化 リソース最適化 運転計画最適化 スケジュール最適化 スループット最適化 資材カット最適化 プロモーション最適化 | 人検知 工場・倉庫人追跡 鳥観図上位置検知 顔認識・検出 表情解析 顔の向き検知 2次元ポーズ推定 3次元構築 乱流検出 車での移動対象検知 実験動物動画解析 | 音声文書化 医療現場関連解析 音声コマンド用 固有名詞認識 | 文書分類 文章クラスティング タグリング 文収集 アノテーション補助 内容分析 トピック分析 固有名詞認識 テキスト要約 資材レビュー ネガポジ解析 | ロボットピッキング Robot AI Vision 把持位置推定 粉体秤量 液体秤量 ロボット・重機等 機械制御 | |
| その他知財 | 採用評価 レジリエンス評価 介護評価テンプレ コーチングAI | 求人マッチング 精度向上 取引可能性可視化 | 不定形数値記号読取り exaFinder タグ付き動画自動生成 動画換気判定 | 音声変換認知症判定 | ユーザ アノテーション | 物体認識 把持位置推定 粉体秤量 液体秤量 | |

アセットの
組み合わせや
新たな創出



製薬企業との研究開発領域でのAI活用に関する協業のほか、RWD解析に関連する取り組みにも注力

第一三共株式会社とのデータ駆動型創薬プロジェクト

AIベンチャーのエクサウィザーズ、低分子領域におけるデータ駆動型創薬の実現へ向けて第一三共との共同開発プロジェクトを始動

～創薬研究におけるAI技術の利活用の加速をサポート～

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長：石山 洸、以下、エクサウィザーズ）は、第一三共株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：眞鍋 淳、以下、第一三共）と2019年5月より共同開発プロジェクトを始動し、創薬研究におけるAIの利活用を通じた「データ駆動型創薬」の実現と加速を目指します。

近年、AI活用は国内外の製薬企業においても拡大しており、新薬の研究開発を加速化し生産性向上に寄与するものとして注目を集めています。一方で、医療・創薬領域におけるビッグデータを基に創薬プロセスの高度化と効率化に取り組む「データ駆動型創薬」を実現するためには、AI技術と創薬現場の専門家同士の高度な融合が求められます。具体的には、創薬に関する専門知識やプロセスの理解をベースに、AIの力を最大限に発揮させ目的に応じたデータ解析を可能とするアプローチ方法を生み出すことに加え、解析結果とその活用方法に関する多面的かつ総合的な評価と判断をおこなう必要があります。

神奈川県との要介護度予測AI開発

2019.03.08 [リリース]

AIベンチャーのエクサウィザーズ自治体の介護関連データを用いた要介護度予測AIを開発

～本開発事業が「神奈川ME-BYOリビングラボ」に採択～

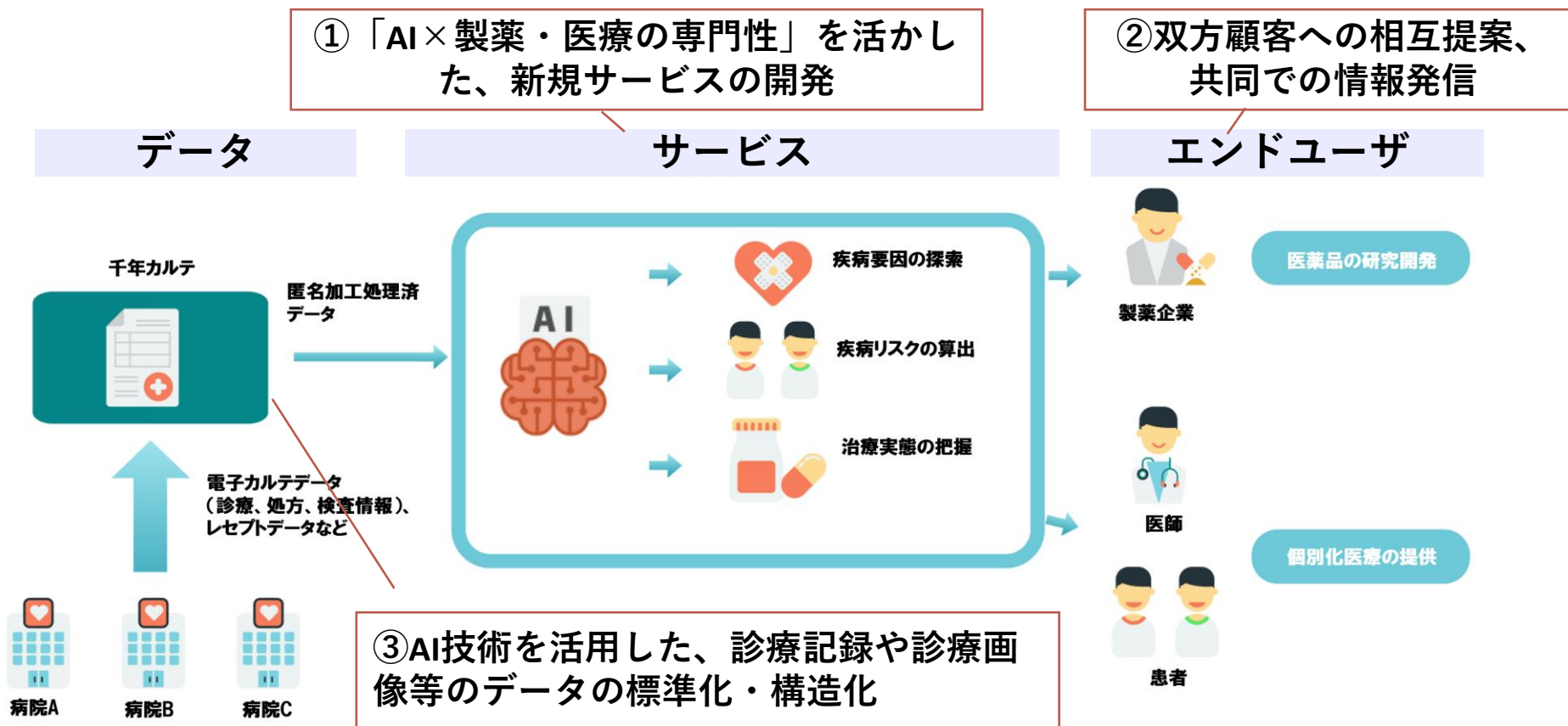
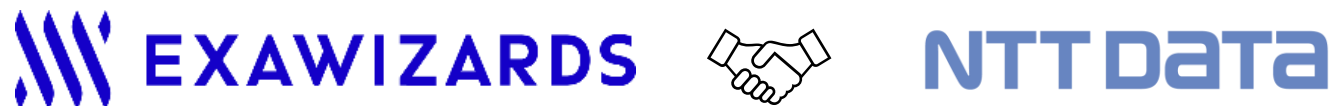
株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長：石山 洸、以下エクサウィザーズ）は、自治体における介護関連データを対象とした「要介護度予測AI」の開発事業を開始し、「神奈川 ME-BYOリビングラボ」の実証事業に採択されました。

本実証事業では、神奈川県と連携することで、県下の特定の市町村の協力を得て、「科学的根拠に基づく介護の実現のための評価基盤構築」に取り組みます。具体的には、AIによる個人レベルでの要介護度予測モデルを開発するとともに、市町村における効果的な介護施策立案に向け、要介護者の重症化要因の解析や要介護度別の特徴抽出を行っていきます。

- ・ 製薬企業とのDX戦略策定、AI開発における協業実績多数
- ・ 製薬企業に加え、アカデミアや保険会社との医療RWD解析プロジェクトの取り組みも実施

NTTデータ社との千年カルテデータ活用における協業

千年カルテデータを活用した新規サービスの共同開発・提供を通じ、医療データ活用のエコシステムを形成することを目指し、NTTデータ社と協業を開始



電子カルテ情報に基づく個別患者の深い情報を有している点に加え、個別の医療機関や患者さんへ解析結果をフィードバック可能な点を魅力に感じています

検査値を含む 電子カルテデータの保持

- 電子カルテが保持している検査値や症状などの情報を用いることで、**治療のアウトカムや副作用に関する解析が可能**であり、**医薬品の研究開発・育薬や、医療機関における診療に貢献できる可能性**がある

希少疾患患者データの 保持

- 先進医療を実施する特定機能病院のデータを収集しており、**希少疾患患者のデータを確保可能**
- **製薬企業が近年注力している希少疾患治療薬の研究開発や育薬に貢献**するようなデータ解析を実施できる**可能性**がある

医療機関・患者さんへの フィードバックの仕組み

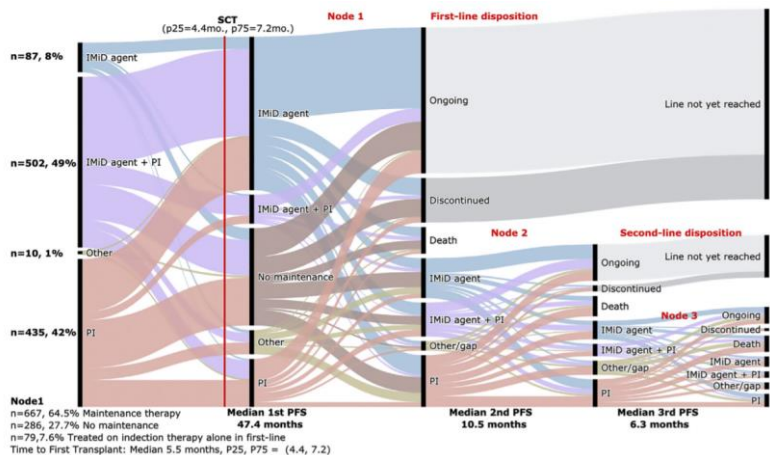
- 千年カルテプラットフォームを通じ、**データ解析結果を医療機関・患者さんへフィードバックする仕組みが構築される予定**
- 構築したAIモデルを実装することで、**速やかに社会・医療課題の解決につなげることが**できる**可能性**がある

下記のような解析サービス開発の検討を進めています

他の解析サービスも検討中
企業様のニーズに合わせた共同開発も実施可能です

Patient Journeyの見える化

- 概要**
 - 特定の疾患患者群における、治療の切替や重症度の変化など、Patient Journeyを可視化
- 活用イメージ**
 - 製薬企業：疾患・治療実態の把握→医師との討議、研究開発テーマの検討に活用
- ポイント**
 - 検査値データ含む電子カルテ情報をフィルタリングに利用可能
 - 高齢者に焦点を当てた分析も実施可能

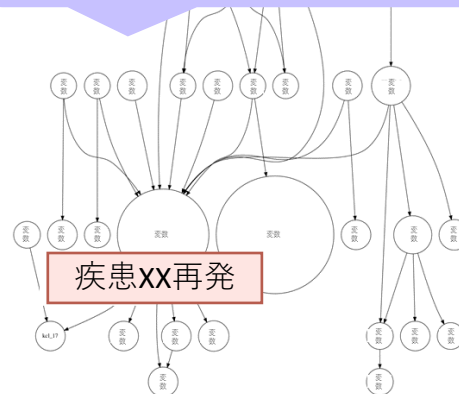


画像出所：<https://www.clinical-lymphoma-myeloma-leukemia.com/action/showPdf?pii=S2152-2650%2819%2932014-2>

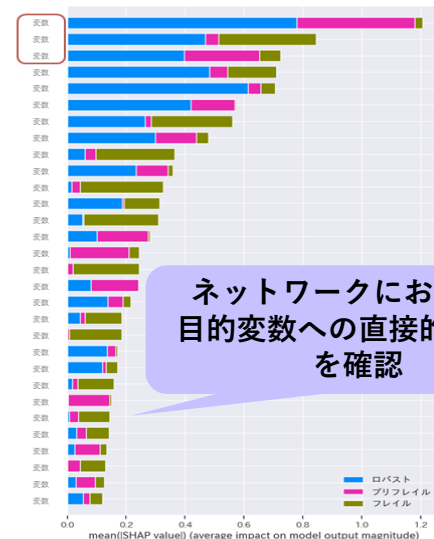
疾患重症化/再発の因果探索

- 概要**
 - 特定の疾患患者群における、疾患の重症化や再発といったイベントと治療や既往歴や検査値等の因果の関係性を可視化
- 活用イメージ**
 - 製薬企業：疾患の重症化や再発といったイベントと既往歴や治療歴の関係性把握 ⇒ 啓発方針の検討や、研究開発テーマの検討、医師との討議に活用
- ポイント**
 - RWD × 因果探索
 - 検査値データ含む電子カルテ情報をフィルタリングに利用可能

疾患再発/重症化に対する、各変数の因果の関係性をネットワーク状に可視化



画像出所：エクサウィザーズ



ネットワークにおける、目的変数への直接的な効果を確認

画像出所：エクサウィザーズ





EXAWIZARDS

AIで、ひとに力を。よりよい社会を。

Care & MedTech事業部の事業ミッション

皆それぞれにとって価値のあるヘルスケアの実現を通じて、自分らしく生きられる世界を目指します。
データとAIを活用したプロセスと仕組みを構築することで、より良い意思決定と行動を支援します

